報道関係者各位

2016 年 11 月 22 日
チエル株式会社

チエルとすららネットが学校向けデジタル教材の共同開発に合意
～小中学校向け e-Learning ドリル教材を 2017 年 4 月より提供開始予定～

チエル株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：川居 睦、以下チエル）と株式会社すららネット（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：湯野川孝彦、以下すららネット）は、学校向けデジタル教材の分野において、すららネットの技術提供を受け、小中学校向け e-Learning ドリル教材を共同開発し、2017 年 4 月より販売を開始することを発表いたします。

■業務提携の背景と目的

文部科学省が本年 7 月に公表した「2020 年代に向けた教育の情報化に関する懇談会」最終まとめでは、ICT を活用して授業と家庭学習等の連携を進めるため、学校や家庭で利用される教育システムの「学習記録データ」を有効につなげることで、子供たちの学びの「可視化」をすることの必要性が示されています。これにより、教員の指導力向上や授業改善、個に応じた学習の充実、学校・家庭のシームレスな学びの実践が期待されています。

このような背景のもと、チエルでは、高校・大学向けのクラウド型教材配信サービス『CHIeru.net』で培ったノウハウを活かし、小中学校向けのデジタル教材クラウドサービスの開発において、学習記録データを基にした「学習分析（ラーニング・アナリティックス）」についての研究開発を進めてまいりました。一方、すららネットでは、学校・学習塾向けのクラウド型学習システム『すらら』において、子供たちの解答結果から一人ひとりの習熟度に応じて最適化した問題や解説を自動で提示する「適応学習（アダプティブ・ラーニング）」の研究開発を行ってまいりました。

今般、チエルとすららネットは、学校向けデジタル教材の共同開発における業務提携を端緒として、両社の持つ技術・強みを活かしたシナジーを最大化するために、「学習分析（ラーニング・アナリティックス）」と「適応学習（アダプティブ・ラーニング）」の機能を合わせ持った学校向け e-Learning 教材を共同展開してまいります。

■株式会社すららネットについて

すららネットは、人工知能とアダプティブ・ラーニングを活用したクラウド型学習教材『すらら』の開発・提供と、学校・塾向けのコンサルティングを行っています。2012 年には「日本 e-Learning 大賞 文部科学大臣賞」を、2016 年には「日本ベンチャー大賞 社会課題解決賞」を受賞しました。国内では 100 以上の学校と 600 以上の塾で導入され、現在ではスリランカやインドネシアなど、海外での活用が進みつつあります。

■チエル株式会社について

「子供たちの未来のために、世界中の先生の授業を ICT で支える」を企業理念に掲げて設立。シェア NO.1 のフルデジタル CALL システムや、タブレット対応授業支援システム、クラウド型教材配信サービス『CHIeru.net』などの開発・制作を手がける、学校教育市場に特化した ICT 専業メーカー。『CHIeru.net』は、高等教育市場におけるグローバル人材育成のニーズの高まりを受け、英検対策教材『旺文社・英検 CAT』や、韓国語初学者向け教材『韓国語入門』など、資格試験対策から多言語教材まで幅広い教材ラインナップを揃え、利用者が堅調に推移し、2016 年 9 月末時点で累計会員数が 297 万人を突破しています。

※記載されている内容は、予告なしに変更または中止されることがございます。

【 本リリースに関するお問合せ先 】
チエル 株式会社　マーケティング部 安田
TEL: 03-6712-9721
E-Mail: chieru-info@chieru.co.jp
URL: http://www.chieru.co.jp